

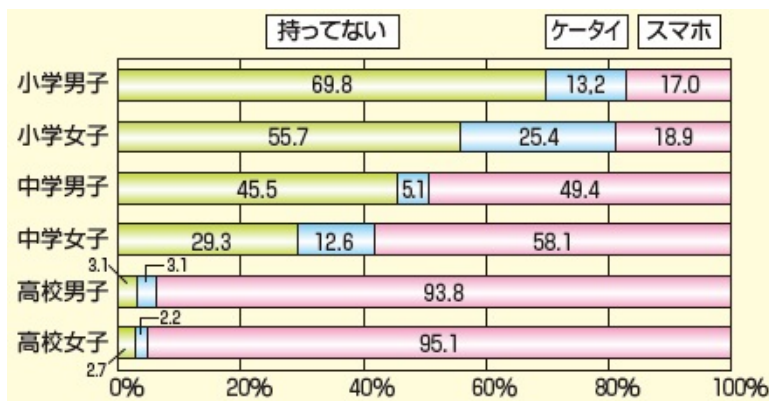
8 ケータイ・スマホの使用とわが家のルール

スマートフォン等を使用することは、生活の中で便利な反面、長時間使用などにより、学習時間の減少による学力低下や睡眠不足による集中力の低下につながるおそれもあり、成長期にある子どもたちに大きな影響を与えています。

また、身体的・心理的影響や有害サイトの問題、家族との会話の減少なども心配され、見過ごすことができない緊急の課題となっています。



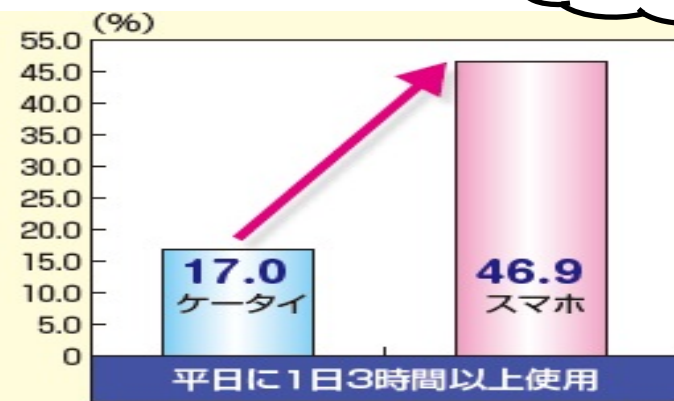
①滋賀県校種別 携帯電話所持率



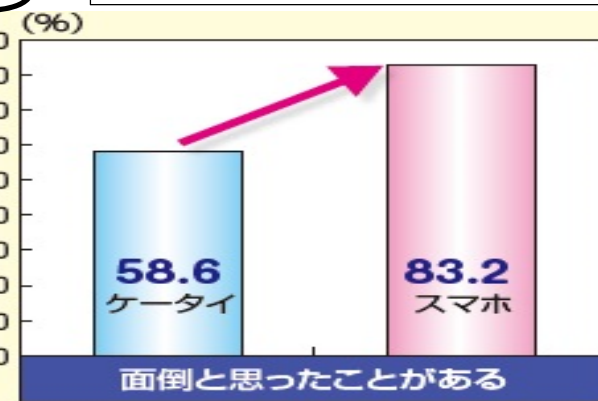
ケータイ・スマホアンケート調査

●平成 26 年度、県教育委員会と県PTA 連絡協議会が連携して、「子どものインターネット利用実態調査」に取り組みました。
小学生、中学生、高校生 25 名による実行委員会では、話し合いの結果をもとに、平成 26 年 10 月に、小学生から高校生まで 2,505 名にアンケートを実施しました。その結果から見てきたのは・・・

②平日の携帯電話の使用時間



③無料通信アプリ (LINE 等) を「面倒くさい」と思ったことがある



【こんな事例があります】

中学2年生 (女子) のAさんは、いつも携帯電話を手元においてメールをしています。食事中でも何通もメールが届くので、なかなか食べ終わりません。また、家族旅行でも、電波の届かないところには行きたがらないなど、メールをすることを何より優先しています。最近では、誰かとメールをしていないと孤独感を感じ、友だちからのメールの返信が少しでも遅れると不安になるなど、情緒不安定になってしまいました。今ではメールでのコミュニケーションが中心になってしまい、友だちと直接会って話すことが苦手になってしまいました。

「ちょっと待って！ケータイ&スマホ」(文部科学省)より

1 みなさんのご家庭では、ケータイやスマホをお子さんに持たせていますか？
その際のご家庭におけるルールを決めていますか？

- ・子どもが希望すれば持たせるつもりです
- ・子どもが希望しても持たせないつもりです

私の考えは・・・

2 ケータイ・スマホの使用について、親としてどのようなことに気をつけたらいいと考えますか？

3 子どもがケータイ・スマホを利用するにあたり、わが家のルールを考えてみましょう。

第1条

第2条

第3条

POINT

ケータイ・スマホは学年が進むにつれて、子どもたちの所持率は高くなり、日常生活に深く浸透している状況にあります。その使用にあたっては、子どもに任せきりにするのではなく、適切なルールを親子で話し合いつくるなど、過度な使用を抑える取組を進め、子どもの基本的な生活習慣を確立していくことが大切です。また、親同士も交流し、保護者のつながりのなかで、子どもたちを温かく見守りましょう。